

# 令和元年度 決算報告

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。

今回は、令和元年度決算の概要などをお知らせします。  
【財政課】

## 一般会計決算の状況

歳入総額 **264** 億円

### 地方交付税

84億円 (31.8%)

地方自治体の収入格差を少なくするために、人口や税収などに応じて国から配分されるお金

### 市税

69億円 (26.1%)

前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や会社からの法人税

市民1人当たりの負担約11万円

〔令和元年度末住民基本台帳登録者数より算出〕



### 国庫支出金

32億円 (12.1%)

特定の事業のために国から配分されるお金

### 市債

20億円 (7.6%)

財政収入の不足や世代間負担の公平性を補う借入金

### 県支出金

19億円 (7.2%)

県から配分されるお金

### 繰入金・繰越金

8億円 (3.1%)

基金や他会計からの繰入金

### その他

32億円 (12.1%)

ごみ処理手数料や寄附金、施設使用料や分担金など



市民1人当たりのサービス約41万円

〔令和元年度末住民基本台帳登録者数より算出〕

幼児教育・無償化などが令和元年度から始まったことにより、前年度に比べ約4億円増加しました。

普通交付税の増加により、前年度と比べ約5,000万円増加しました。

消費税率10%への引上げに伴うプレミアム付き商品券事業の実施などにより、前年度に比べ約10億円増加しました。

退職者の人数が少なかったことによる退職金の減少や職員数の削減効果により、前年度と比べ約2億円減少しました。

（仮称）あやの台北部用地開発関連経費が特別会計に移行されたことなどにより、前年度と比べ約3億円減少しました。

地域づくり基金、ふるさと応援基金の取崩しの増加により、前年度と比べ約3億円増加しました。

小中学校空調設備設置工事や学文路地区公民館建設工事の実施により、前年度と比べ約5億円増加しました。

歳出総額 **259** 億円

### 扶助費

54億円 (20.8%)

児童・高齢者・生活困窮者を援助するなど住民福祉を支えるための経費

### 補助費等

40億円 (15.4%)

各種団体などに対する補助金・負担金など

### 人件費

39億円 (15.1%)

職員給与・議員報酬など

### 公債費

37億円 (14.3%)

借入金（市債）の償還金

### 物件費

36億円 (13.9%)

委託料や使用料、消耗品・備品購入などの経費

### 繰出金

29億円 (11.2%)

特別会計へ支出したお金など

### 普通建設事業費

16億円 (6.2%)

道路や施設の建設、大規模改修経費など

### その他

8億円 (3.1%)

維持補修費・災害復旧・事業費など

## 財政指標

財政状況が良好であることを示す指標として財政健全化判断比率（右表）があります。この比率は4つの指標からなり、いずれも危険信号とはなっていませんが、下記の財政力指数や経常収支比率では、和歌山県内の他市と比べて市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

危険信号

### 財政健全化判断比率

指標	内容	橋本市	早期健全化基準 <sup>(※)</sup>
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.70%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	17.70%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	13.6%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	101.1%	350%

※この基準を超えると、健全化計画を作成し、財政状況の立て直しに取り組む必要があります。

### 財政力指数 0.460

標準的な行政サービスを行うためのお金を自ら賄える割合  
(数値が高いほど財政に余裕がある)

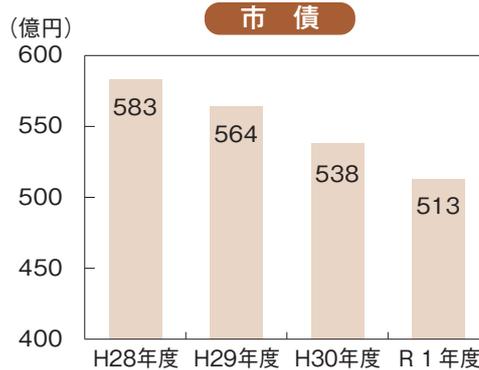
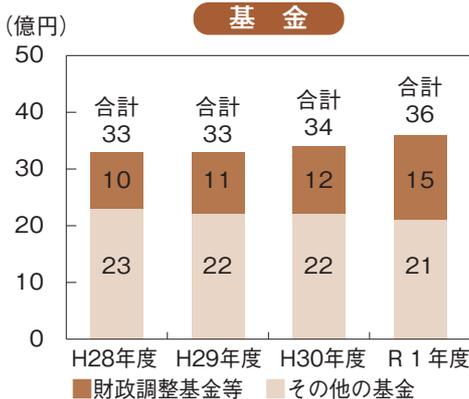
県下9市中  
6位  
平均0.519

### 経常収支比率 101.0%

市税など経常的に入るお金が借金の返済など義務的な経費に充てられる割合  
(数値が高いほど財政にゆとりがない)

県下9市中  
8位  
平均97.9%

## 基金と市債



特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して2億円増加し、36億円（うち財政調整基金15億円）となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金（市債）残高は、前年度と比べて25億円減少し、513億円となりました。

## 公営企業会計の決算状況

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

会計名		収入	支出	差し引き
水道	収益的収支	18.2億円	16.4億円	1.8億円
	資本的収支	2.2億円	6.8億円	△4.6億円
下水道	収益的収支	17.7億円	17.4億円	0.3億円
	資本的収支	7.2億円	10.9億円	△3.7億円

会計名		収入	支出	差し引き
病院	収益的収支	74.2億円	76.9億円	△2.7億円
	資本的収支	4.0億円	7.2億円	△3.2億円

## 特別会計の決算状況

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	収入	支出	差し引き
国民健康保険	74.0億円	73.2億円	0.8億円
住宅新築資金等貸付	0.2億円	0.1億円	0.1億円
駐車場	251万円	245万円	6万円
墓園	0.4億円	0.4億円	0円
農業集落排水	1.1億円	1.1億円	0円

会計名	収入	支出	差し引き
土地区画整理	2.2億円	2.1億円	0.1億円
介護保険	69.6億円	66.1億円	3.5億円
訪問看護	0.6億円	0.5億円	0.1億円
後期高齢者医療	17.1億円	17.0億円	0.1億円
工業団地造成	1.2億円	1.1億円	0.1億円

## 財政健全化計画の進捗状況について



厳しい財政状況の改善に向け、また、将来を見据えた健全な財政構築のため、平成27年度に「財政健全化計画」を策定し、平成30年度には改訂版を策定しています。

令和元年度は、年間7億7,500万円の一般財源確保のための取組みと目標額を設定しましたので、令和元年度決算に基づき、その取組み状況と実績を報告します。

### 令和元年度の進捗状況

歳入の確保	目標額	R 1 年度実績	目標額との差
市税収納率の向上および税外債権の回収強化	4,000万円	9,745万円	5,745万円
公共施設などの使用料見直し	400万円	273万円	△127万円
債券運用による歳入確保	600万円	355万円	△245万円
未利用地の処分・貸付	1,000万円	△1,620万円	△2,620万円
合 計	6,000万円	8,753万円	2,753万円

- 令和元年度の市税の徴収率は95.9%と、平成27年度に比べ1.4%アップし、目標の0.2%アップを上回りました。債権回収対策の徴収額と合わせ、効果額は9,745万円となりました。
- 「使用料・手数料等に関する基本方針」に基づき、平成27年度にエコパーク「紀望の里」、文教施設、体育施設について新たな料金設定で条例改正を行い、令和元年度は約273万円の増収となりました。
- 平成27年度から債券運用に取り組み、令和元年度は売却益と利子を合わせて355万円の収入がありました。
- 平成29年度から未利用地の処分・貸付による1,000万円の財源確保を新たに設定しました。令和元年度は約1,217千円の収入がありましたが、平成27年度に比べると1,620万円の減収となりました。

人件費の抑制	目標額	R 1 年度実績	目標額との差
職員数および職員給与の削減	3億6,000万円	4億7,167万円	1億1,167万円
合 計	3億6,000万円	4億7,167万円	1億1,167万円

- 職員数および職員給与の削減などにより、平成27年度に比べ4億7,167万円の削減となりました。

普通建設事業費などの削減	目標額	R 1 年度実績	目標額との差
普通建設事業費の抑制	5,000万円	1億9,810万円	1億4,810万円
合 計	5,000万円	1億9,810万円	1億4,810万円

- 投資的経費は必要最小限に絞り込み、平成27年度に比べ1億9,810万円の減額となりました。

その他	目標額	R 1 年度実績	目標額との差
臨時・嘱託職員数の削減	7,000万円	1億5,122万円	8,122万円
事業の見直しや縮小による物件費の削減	1億7,000万円	1億2,471万円	△4,529万円
補助費や繰出金の見直し	6,500万円	629万円	△5,871万円
合 計	3億500万円	2億8,222万円	△2,278万円

- 再雇用職員や臨時および嘱託職員の適正配置を行い、賃金総額の削減に努め、計画を上回る1億5,122万円の削減を行いました。
- 物件費は、委託料、需用費など削減努力を行なったものの、実績額は1億2,471万円となりました。
- 病院事業会計への繰出金の縮減および社会福祉協議会補助金、ごみ関連補助制度の見直しなどを行なったものの、実績額は629万円となりました。

### 将来の橋本市を見据えて

令和元年度は、全体で7億7,500万円の目標に対し、10億3,953万円の実績となり、計画を上回る効果があらわれました。今後も達成できなかった物件費の削減など経常経費の総額抑制に努めるとともに、使用料の見直しなど新たな歳入確保の取組みを着実に進め、早期に基金と市債に依存した財政運営からの脱却に努めます。



## 令和元年度に実施した主な事業

### ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

#### ■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

……………2億4,924万2千円

市の魅力や地域産品などのPR・販売促進を行ったり、寄附受付サイトを増設したりするなど歳入確保に取り組みました。

その結果、令和元年度は前年度に比べて寄附の件数が約1.9倍、金額は約1.7倍に増えました。

#### ■農産物産地化事業

……………184万2千円

橋本市農産物の新たな産地化・ブランド化を目指し、農家所得の向上による農業振興を図るため、高野山麓精進野菜のロゴマーク制作や講習会を行いました。

また、昨年度に引き続き、白ゴマの試験栽培などの取り組みを行いました。



▲ロゴマーク



▲高野山麓精進野菜

#### ■プレミアム付き商品券事業

……………1億3,280万9千円



令和元年10月の消費税10%への引き上げに伴い、住民税非課税者および3歳未満の乳幼児がいる子育て世帯の消費に対する影響を緩和するため、プレミアム付き商品券の販売を行いました。

#### ■工業団地造成事業

……………1億1,343万5千円

和歌山県・橋本市・南海電気鉄道株式会社の三者で実施している「あやの台北部用地開発事業」について、造成工事に着手しました。



▲造成工事の様子（令和2年9月末時点）

#### ■転入夫婦新築住宅取得補助事業

……………1,370万円

若年層および子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、新築住宅を取得した40歳未満の転入夫婦に対して補助金を設けています。令和元年度は、139人の転入者に対して補助金を交付しました。

#### ■アジアヘラブナサミット事業

……………52万4千円



▲釣り大会の様子

日本の釣具メーカー、竹竿師、アジアのヘラブナ釣りを支える関係者が集まり、アジア全体でヘラブナ釣りの課題を共有し、連携して魅力を発信する「アジアヘラブナサミット」を開催しました。



▲ヘラブナ釣りの今後について話し合う登壇者の皆さん

## ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

### ■災害用備蓄品購入事業

..... 1, 388万2千円

昨年度に引き続き、「中央構造線断層帯による地震」の被害想定を基に、災害用備蓄品（トイレ処理セット、備蓄水、備蓄食糧、防災毛布など）を購入し、防災倉庫に格納しました。

### ■交通サービス利便性向上促進事業

..... 676万5千円

市民や外国などからの来訪者に対する交通サービスの利便性向上を図るため、市内路線バス、コミュニティバスへのICカード導入に関する補助金を交付しました。

### ■消防団車両更新事業

..... 3, 431万9千円

消防団車両を計画的に更新しており、令和元年度では、消防ポンプ自動車（高野口町応其）、小型動力ポンプ付積載車（隅田町下兵庫）、小型動力ポンプ付軽四積載車（柱本）の更新を行いました。

### ■杉村やすらぎ広場整備事業

..... 9, 263万7千円

杉村公園は、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備によりアクセス環境が良くなったことから、利便性の向上を図るため、広場の整備を進めています。令和元年度は、駐車場および多目的トイレの建設などが完了しました。



### ■消防団納庫更新事業

..... 2, 184万7千円

地域の防災機能の向上のため、防災拠点である消防団納庫（高野口町伏原）の新設工事や旧岸上消防団納庫の解体工事を行いました。

## ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

### ■こども食堂支援事業

..... 34万3千円

こども食堂実施団体によるこども食堂の設備や運営を支援するため、令和元年度からの3年間、橋本こども食堂支援補助金を設けました。令和元年度では、こども食堂を実施する5団体に補助金を交付しました。



### ■たんぽぽ園整備事業

..... 334万7千円

たんぽぽ園園舎の老朽化対策および受入定員を増員するために、令和3年度の開園に向けて園舎の新築整備を進めています。令和元年度は、園舎新築のための設計委託業務を実施しました。

### ■市内小中学校空調設備整備事業

..... 6億5, 416万円

児童・生徒の学習・生活環境を整えるため、市内小中学校の普通教室、特別支援教室、一部の特別教室などに空調設備の設置を行いました。

### ■ねんりんピック紀の国わかやま2019事業

..... 1, 404万円

ねんりんピック紀の国わかやま2019において、橋本市では、ゴルフ交流大会、ソフトバレーボール交流大会を開催するため、市実行委員会への補助金の交付などを行いました。

